

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、健やかに新年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

また、昨年は、町政の推進に対しまして格別のご支援、ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

まずは、私事ではございますが、町政の舵取り役を担う穴水町長として就任させていただいてから、早1年と約11か月が経過し、本年は、任期期間の折り返しとなる3年目を迎えることとなります。

これから、令和6年度の新年度予算編成にあたるわけですが、私の選挙公約にも掲げました、全世代が暮らしやすい、住み良い環境を目指す「穴水町のために考える未来」の実現に向けた取り組みを本格的に実行するため、これまでの町議会議長や町議会議長としての経験も生かしながら、「ふるさとを次世代へ引き継げる穴水町の確かな未来づくり」に邁進させていただきたいと思っております。

さて、新型コロナウイルス感染症が発生して4年が過ぎようとしています。これまで、私たちの生活や地域の経済に大きな影響を与えた新型コロナウイルスも、昨年の春に感染症としての位置付けを2類相当から5類に移行

し、ようやく終息の兆しが見え始めたのではないかと実感しております。

本町においても、「長谷部まつり」や「まいもんまつり」、「駅伝競走大会」など、各種イベントや大会が制限なく再開することができるようになり、少しずつではありますが、人の往来も回復し、従来の姿に戻りつつあります。

しかしながら、ロシアのウクライナ侵攻を始めとする様々な世界情勢により、電気、ガス、石油などのエネルギー価格に加え、食料品などの生活物資に至るまで、様々なところで物価高騰の影響が拡大するなど、新たな難局が複合的に押し寄せている状況となっております。

このような状況下で、穴水町では住民生活や地域経済などの下支えを行うべく、多方面にわたる対応を講じてきたところでありますが、依然として先行きが不透明な社会情勢の中、これらの影響が直面する住民生活の安定と地域経済の維持・確保に向けて、その対策を引き続きしっかりと取り組み、合わせて、本町最大の課題でもある「人口減少」に伴う過疎化の進行や少子高齢化や地域公共交通の維持・存続の他、老朽化したインフラや公共施設の更新を含む長寿命化対策など、課題は山積しておりますが、その課題解決に

向けて鋭意努力してまいりたいと思っております。

また、本年は町制70周年を迎えるにあたり、町制施行以来のまちの歩みを振り返り、未来に向けて飛躍する新たな出発点とするため、「町制施行70周年記念事業」を開催し、魅力あるまちづくりに重点を置き、町民とともに各種事業を展開していきたいとも考えております。

結びになりますが、新年の門出にあたり、皆様方のご健勝とご多幸を、心からお祈り申し上げます。念頭のごあいさつといたします。



穴水町長

吉村 光輝

# 年頭のごあいさつ

New Year's greetings 2024

